

丹比真人の歌一首

一七二六番

難波瀉なにはがた 潮干しほひに出いでて 玉藻刈たまもかる 海人娘あまをとめ子ども  
汝なが名な告のらさね

和ふる歌一首

一七二七番

あさりする 人ひととを見みませ 草枕くさまくら 旅行たびゆく人ひとに  
我わが名なは告のらじ

石川卿の歌一首

一七二八番

慰なぐさめて 今夜こよひは寝ねなむ 明日あすよりは 恋こひかも行ゆ  
かむ こゆ別わかれなば